

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成26年4月10日
【四半期会計期間】	第81期第3四半期（自平成25年12月1日至平成26年2月28日）
【会社名】	三光合成株式会社
【英訳名】	SANKO GOSEI LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒田 健宗
【本店の所在の場所】	富山県南砺市土生新1200番地
【電話番号】	(0763)52-7105
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 芹川 明
【最寄りの連絡場所】	富山県南砺市土生新1200番地
【電話番号】	(0763)52-7105
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 芹川 明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第3四半期連結 累計期間	第81期 第3四半期連結 累計期間	第80期
会計期間	自平成24年6月1日 至平成25年2月28日	自平成25年6月1日 至平成26年2月28日	自平成24年6月1日 至平成25年5月31日
売上高(千円)	31,227,528	32,097,209	43,865,523
経常利益(千円)	2,083,517	1,217,843	2,833,842
四半期(当期)純利益(千円)	1,317,006	895,496	1,905,787
四半期包括利益又は包括利益(千円)	2,179,079	783,286	3,182,549
純資産額(千円)	9,338,582	10,871,902	10,341,470
総資産額(千円)	29,917,189	33,661,888	32,148,511
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	62.92	42.79	91.06
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	28.6	29.8	29.4

回次	第80期 第3四半期連結 会計期間	第81期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年12月1日 至平成25年2月28日	自平成25年12月1日 至平成26年2月28日
1株当たり四半期純利益金額(円)	26.90	17.25

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果が下支えする中、企業収益の改善や個人消費の増加がみられるなど、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、海外においては、新興国の景気の減速や欧州経済の停滞等によるリスク、国内では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要後の反動等の不安材料もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

この様な経済環境の中、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、生産効率の向上を図り労務費や経費の圧縮に努め、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

国内におきましては、金型の受注が堅調に推移しており、中期的な観点において、先々、成形品の売上高に寄与してくるものと思われまます。

一方、海外関係につきましては、メキシコに設立いたしました「SANKO GOSEI MEXICO,S.A.DE C.V.」の新工場につきましては、2月末より量産開始しております。また、フィリピンに設立いたしました「SANKO GOSEI PHILIPPINES, INC.」の新工場につきましては、3月末の量産開始を予定しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,097百万円（前年同期比2.8%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は1,555百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益は持分法による投資利益の減少等により1,217百万円（前年同期比41.5%減）、四半期純利益は895百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

成形品部門においては、車両用内外装部品及び機能部品とも自動車メーカーからの受注増加に支えられ増収となりましたが、情報通信機器関連は受注減の影響もあり減収となりました。金型部門では車両用内外装関係の受注が国内及び海外向けともに大きく増加しました。この結果、売上高は13,221百万円（前年同期比1.7%増）となり、セグメント利益は1,315百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

欧州

車両用内外装部品の受注が大幅に増加するとともに、金型の受注増加もあり売上高は4,324百万円（前年同期比47.8%増）となり、セグメント利益は338百万円（前年同期はセグメント損失68百万円）となりました。

アジア

インドネシアや中国では車両用内外装部品の受注は増加しましたが、タイでは自動車メーカーの在庫調整の影響もあり車両用内外装部品は減収となり、売上高は14,475百万円（前年同期比5.4%減）となり、セグメント利益は労務費等の増加もあり469百万円（前年同期比46.0%減）となりました。

北米

売上高につきましては、平成25年11月より顧客へ納入開始もあり75百万円となり、セグメント損失は操業準備費用等により79百万円となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)	
		売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	4,519	7.5
	車両	23,048	5.1
	家電その他	1,316	5.6
成形品計		28,884	2.4
金型		3,213	6.1
合計		32,097	2.8

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、33,661百万円(前連結会計年度末比1,513百万円増)となりました。流動資産は17,279百万円と前連結会計年度末比563百万円増加しておりますが、主にたな卸資産の増加947百万円並びに現金及び預金の減少939百万円によるものであります。固定資産は16,382百万円と前連結会計年度末比949百万円増加しておりますが、これは、有形固定資産の設備投資等による増加723百万円が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、22,789百万円(前連結会計年度末比982百万円増)となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加1,900百万円、社債の増加570百万円及び長短借入金の減少1,043百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、10,871百万円(前連結会計年度末比530百万円増)となりました。これは、主に利益剰余金の増加769百万円及び為替換算調整勘定の減少178百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は321百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	43,200,000
計	43,200,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成26年4月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	21,121,569	21,121,569	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	21,121,569	21,121,569	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年12月1日～ 平成26年2月28日	-	21,121,569	-	1,890,800	-	1,742,393

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 197,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,765,000	20,765	-
単元未満株式	普通株式 159,569	-	-
発行済株式総数	21,121,569	-	-
総株主の議決権	-	20,765	-

【自己株式等】

平成26年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三光合成(株)	富山県南砺市土生新1200番地	197,000	-	197,000	0.93
計	-	197,000	-	197,000	0.93

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,218,121	3,278,837
受取手形及び売掛金	8,898,546	9,074,817
商品及び製品	686,998	1,130,426
仕掛品	821,858	1,373,976
原材料及び貯蔵品	691,360	643,202
その他	1,406,000	1,786,148
貸倒引当金	7,058	7,902
流動資産合計	16,715,827	17,279,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,696,860	4,761,430
機械装置及び運搬具(純額)	4,315,836	4,976,137
工具、器具及び備品(純額)	1,633,453	1,681,445
土地	2,979,831	3,068,526
建設仮勘定	447,526	309,829
有形固定資産合計	14,073,508	14,797,370
無形固定資産		
その他	42,587	50,478
無形固定資産合計	42,587	50,478
投資その他の資産		
投資有価証券	1,190,596	1,290,023
その他	189,131	302,957
貸倒引当金	63,140	58,446
投資その他の資産合計	1,316,588	1,534,534
固定資産合計	15,432,683	16,382,383
資産合計	32,148,511	33,661,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,781,559	8,681,671
短期借入金	1,466,007	1,264,279
1年内返済予定の長期借入金	2,338,371	1,958,319
1年内償還予定の社債	360,000	520,000
未払法人税等	288,650	224,616
役員賞与引当金	29,058	-
その他	3,777,648	3,460,270
流動負債合計	15,041,295	16,109,157
固定負債		
社債	1,140,000	1,550,000
長期借入金	2,997,042	2,535,701
退職給付引当金	190,728	253,003
役員退職慰労引当金	88,262	23,400
その他	2,349,711	2,318,724
固定負債合計	6,765,744	6,680,828
負債合計	21,807,040	22,789,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,890,800	1,890,800
資本剰余金	1,742,393	1,742,393
利益剰余金	6,256,582	7,026,529
自己株式	40,315	40,832
株主資本合計	9,849,460	10,618,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,800	917
為替換算調整勘定	413,892	592,446
その他の包括利益累計額合計	410,092	591,529
少数株主持分	902,103	844,541
純資産合計	10,341,470	10,871,902
負債純資産合計	32,148,511	33,661,888

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	31,227,528	32,097,209
売上原価	26,231,890	26,993,923
売上総利益	4,995,638	5,103,285
販売費及び一般管理費	3,482,583	3,547,503
営業利益	1,513,054	1,555,782
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,755	9,353
持分法による投資利益	509,397	36,635
為替差益	262,812	-
その他	110,988	61,849
営業外収益合計	893,954	107,838
営業外費用		
支払利息	282,138	267,292
為替差損	-	119,565
その他	41,351	58,918
営業外費用合計	323,490	445,776
経常利益	2,083,517	1,217,843
特別利益		
固定資産売却益	3,588	3,157
受取保険金	71,945	-
特別利益合計	75,534	3,157
特別損失		
固定資産除却損	19,003	15,051
固定資産売却損	1,963	392
関係会社株式売却損	81,216	-
関係会社株式評価損	7,100	3,000
スワップ差損	4,917	1,623
災害による損失	71,310	-
その他	6,030	-
特別損失合計	191,541	20,067
税金等調整前四半期純利益	1,967,511	1,200,934
法人税等	419,920	174,077
少数株主損益調整前四半期純利益	1,547,590	1,026,856
少数株主利益	230,583	131,359
四半期純利益	1,317,006	895,496

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,547,590	1,026,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,654	1,140
繰延ヘッジ損益	16	-
為替換算調整勘定	595,733	259,770
持分法適用会社に対する持分相当額	34,116	17,340
その他の包括利益合計	631,488	243,570
四半期包括利益	2,179,079	783,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,836,614	714,060
少数株主に係る四半期包括利益	342,464	69,225

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
減価償却費	1,315,106千円	1,340,560千円
負ののれんの償却額	1,243	-

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月29日 定時株主総会	普通株式	62,789	3	平成24年5月31日	平成24年8月30日	利益剰余金
平成24年12月7日 取締役会	普通株式	62,784	3	平成24年11月30日	平成25年2月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月28日 定時株主総会	普通株式	62,777	3	平成25年5月31日	平成25年8月29日	利益剰余金
平成25年12月10日 取締役会	普通株式	62,772	3	平成25年11月30日	平成26年1月31日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,004,293	2,926,741	15,296,493	-	31,227,528	-	31,227,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,193,258	13,496	676,134	-	1,882,889	1,882,889	-
計	14,197,552	2,940,237	15,972,627	-	33,110,417	1,882,889	31,227,528
セグメント利益又は損失 ()	1,168,914	68,720	870,033	6,579	1,963,647	450,592	1,513,054

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去930千円及び各報告セグメントに配分していない
 全社費用 451,523千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年6月1日至平成26年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,221,941	4,324,252	14,475,932	75,082	32,097,209	-	32,097,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,744,442	11,826	807,929	44	2,564,242	2,564,242	-
計	14,966,383	4,336,078	15,283,862	75,126	34,661,451	2,564,242	32,097,209
セグメント利益又は損失()	1,315,165	338,731	469,893	79,757	2,044,032	488,249	1,555,782

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去 89,402千円及び各報告セグメントに配分していない
 全社費用 398,847千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度にメキシコに「SANKO GOSEI MEXICO, S.A. DE C.V.」(連結子会社)を設立したため、第1四半
 期連結会計期間より、地域別セグメントとして「北米」を報告セグメントとして新設しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しており
 ます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 6 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 6 月 1 日 至 平成26年 2 月28日)
1 株当たり四半期純利益金額	62円92銭	42円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	1,317,006	895,496
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	1,317,006	895,496
普通株式の期中平均株式数 (株)	20,928,770	20,924,999

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年12月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....62,772千円

(ロ) 1 株当たりの金額..... 3 円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成26年 1 月31日

(注) 平成25年11月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年4月10日

三光合成株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 笠間 智樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三光合成株式会社の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備又は運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三光合成株式会社及び連結子会社の平成26年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期

報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。